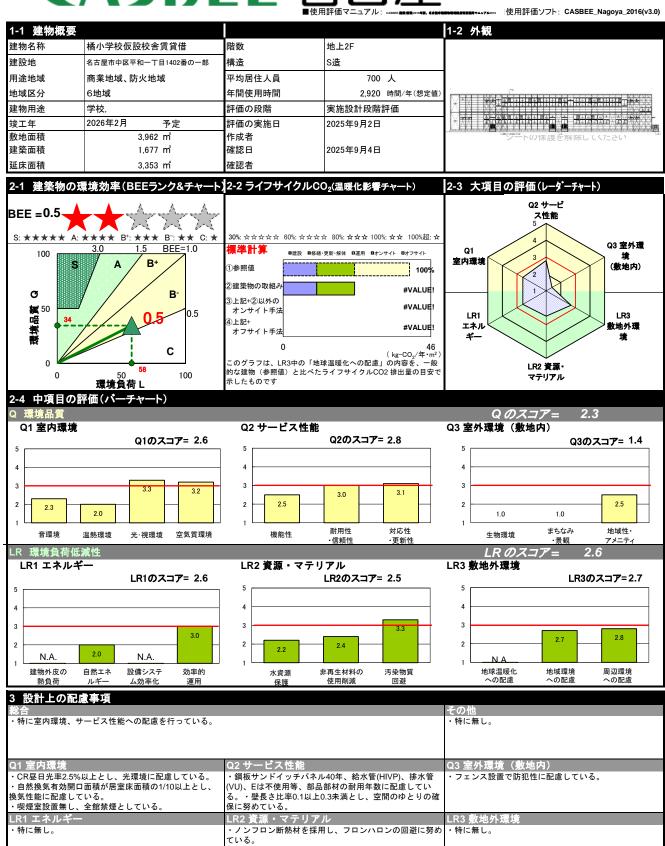
【八SBEE 名古屋 I 評価結果 I



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE 名古屋

▋評価結果▮

重点項目スコア・結果シート

橘小学校仮設校舎賃貸借

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目			評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策					2.7
LR1	エネルギー		2.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		0.0	0	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.075	
2. 自然共生					1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出		1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮				
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.045	
3. 循環型社会					2.4
LR2.1	水資源保護		2.2	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2		2.3	0.028125	

結果 評価点 = 2.7 2. 自然共生 評価点 = 1.3 3. 循環型社会 評価点 = 2.4

重点項目のスコアは以下のように算出している。

重点項目スコア= (評価点×全体に対する重み)の総和 全体に対する重みの総和

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 I 2)地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。